

CADPAC CREATOR 2D Ver.13.0

CADPAC-CREATOR 2D Ver.13.0 新機能リスト

■汎用機能

1. 出図
2. DXF/DWG 入力
3. 一括線分
4. バルーン
5. 変形
6. 要素情報
7. 付箋 整列機能
8. システム設定・色彩

■機械オプション

1. 溶接記号
2. 部分拡大図
3. バルーンと部品欄連動
4. ボルト、ねじ、穴
5. 皿小ねじ、丸皿小ねじ
6. キー溝、長穴

■土木オプション

1. 補助記号
2. レイヤーテンプレート変換

■外部データ貼り付けオプション

1. データ編集
2. データ貼付

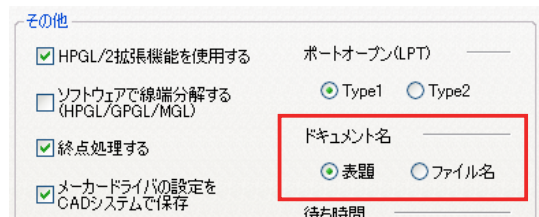
Ver.13.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.13.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.12.5 からの差分です)
[***/*] は、該当のオンラインヘルプです。

汎用機能

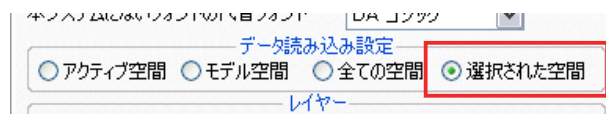
1. 出図

「環境設定 / その他」のドキュメント名設定による印刷ドキュメント名の指定がIMGPrinterで出力する際にも適用されるようになりました。
[ファイル / 出図]



2. DXF・DWG 入力

読込むレイアウト空間を選択できるようになりました。各空間ごとにシートウインドウを生成して変換を行います。
「変換条件設定」の全般タブにある項目「データ読み込み設定」に新たに追加された「選択された空間」を選択することで有効になります。



機能を有効にすると、データ読み込み処理前に空間選択ダイアログボックスが開くようになりますので、任意のレイアウト空間を選択し、[完了]で実行します。

[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]

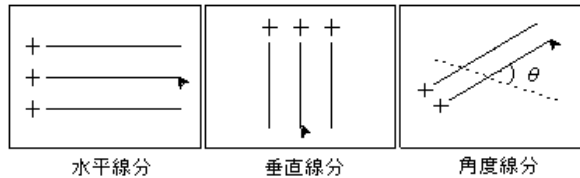
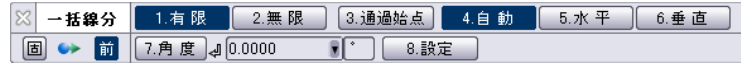


3. 一括線分

複数の線分を一括で作図できる新コマンドです。

水平線や垂直線、及び角度線分が作図できます。有限長、無限長の設定も可能です。

[作図 / 直線 / 一括線分]

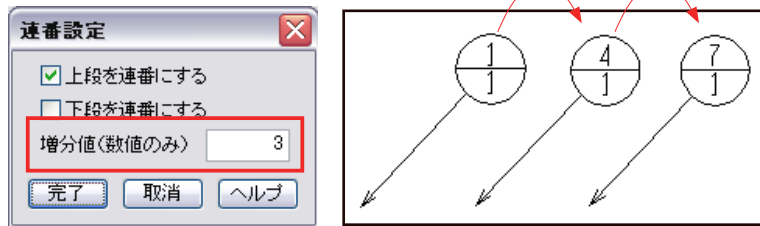


4. バルーン

連番の増分値を設定できるようになりました。

[5. 連番] ボタンを右クリックすると開く設定ダイアログボックスに、増分値を入力できるボックスが追加されています。

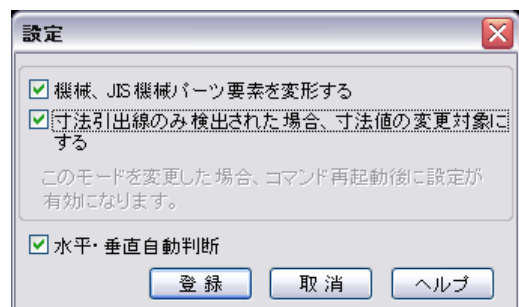
[作図 / 文字記入 / バルーン]



5. 変形

枠選択 CSB が表示され、かつ要素が未選択のとき、「Shift + [完了] ボタン」もしくは「Shift + マウス右クリック」を入力すると、変形 CSB の [B. 設定] で表示される設定ダイアログボックスを呼び出すことができます。

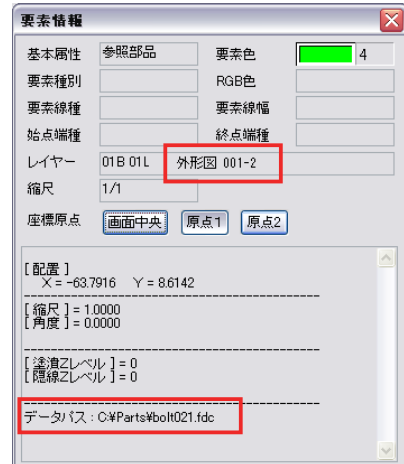
[編集 / 変更 / 変形]



6. 要素情報

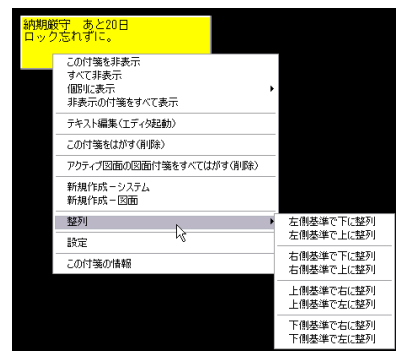
レイヤー欄にレイヤー名称が表示されるようになりました。

参照部品の要素情報に、元データのパスが追加されました。
[補助 / 計測 / 要素]



7. 付箋 整列

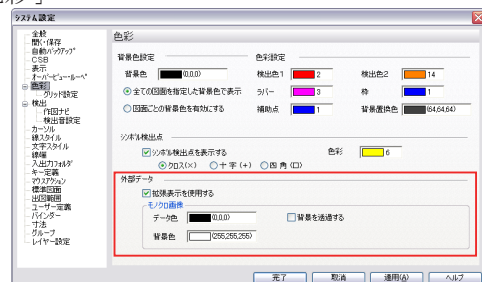
あちこちに複数貼られた付箋を整列させて並べ替えることができます。システム付箋、図面付箋ともに一定の規則に従って整列させます。整列させる基準となる付箋の上で、マウス右ボタンをクリックします。ポップアップメニューから、【整列】を選択します。[基本操作 2/ 付箋]



8. システム設定・色彩

モノクロのラスタデータに対してデータ色、背景色、透明度を指定できるようになりました。

[補助 / システム設定 / 色彩]

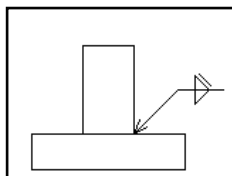


機械オプション

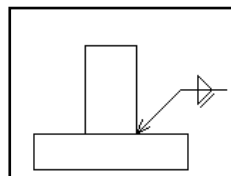
1. 溶接記号

[3. 設定]の「上側（向う側）」および「下側（手前側）」がオンのとき、または「両側」がオンのとき、表面形状補助記号を作図する位置を限定することができるようになりました。

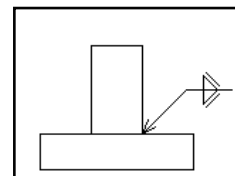
[オプション / 機械 / 溶接記号]



上側



下側

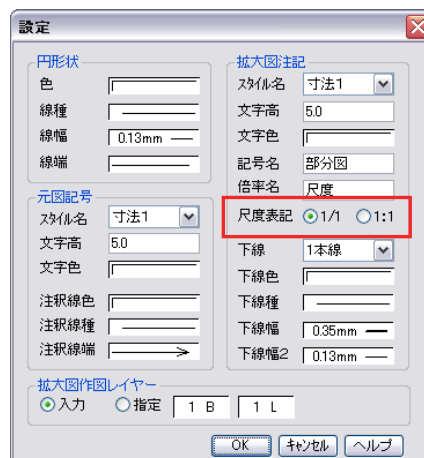


両側

2. 部分拡大図

尺度表記を分数（/）とコロン（:）から選択できるようになりました。

[オプション / 機械 / 機械記号 / 部分拡大図]



3. バルーンと部品欄連動

「項目入力」ダイアログボックスの履歴保持数が各項目ごと50までになりました。50を超えると登録の古いものから削除されます。

[作図 / 文字記入 / バルーンと部品欄連動]

4. ボルト、ねじ、穴

立ち上げている機械部品コマンドで作図した要素以外の機械要素からも径取得できるようになりました。

六角ボルトの径を平座金コマンドの径取得で検出することが可能です。

[オプション / 機械 / 機械定型 1/ 六角ボルト]
 [オプション / 機械 / 機械定型 1/CAP ボルト]
 [オプション / 機械 / 機械定型 1/ ナット]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ なべ小ねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ 丸小ねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ 丸皿小ねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ 皿小ねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ 止めねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ トラス小ねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 1/ タップ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 3/ ドリル穴]
 [オプション / 機械 / 機械定型 3/ 深ざぐり]
 [オプション / 機械 / 機械定型 3/ 皿ざぐり]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / 六角ボルト]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / CAP ボルト]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / 植込みボルト]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / 基礎ボルト]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / 六角ナット]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / 小ねじ]
 [オプション / 最新 JIS 対応 / 止めねじ]

5. 皿小ねじ
丸皿小ねじ

[0. 設定] の作図基準点が「首下」のときでもオフセット値を設定できるようになりました。

[オプション / 機械 / 機械定型 2/ 皿小ねじ]
 [オプション / 機械 / 機械定型 2/ 丸皿小ねじ]



6. キー溝と長穴

キー溝、長穴の両コマンド間で相互に切り替えができるようになりました。それぞれの CSB に切り替えボタンが追加されています。

[オプション / 機械 / 機械定型 1/ キー溝]
 [オプション / 機械 / 機械定型 1/ 長穴]



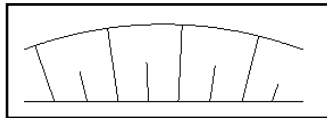
土木オプション（標準機能）

1. 補助記号

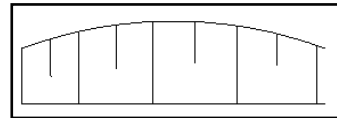
[1. 記号] 法面 B を選択し、[3. 要素指定] するとき、[5. 角度切替] が使用できるのは両要素が線分のときだけでしたが、本バージョンより円弧と線分をそれぞれ指定したときも角度切替ができるようになりました。

[土木基本 / 共通 / 補助記号]

角度切替 ON



[円弧] → [線分]

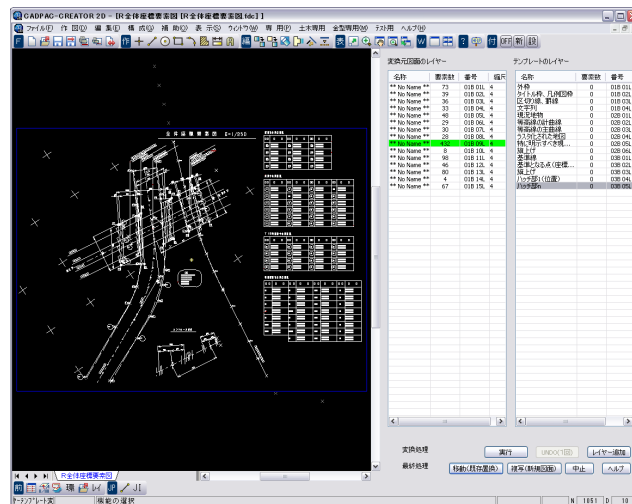


[線分] → [円弧]

2. レイヤーテンプレート変換

レイヤーの変更（上書保存 / 新規保存）を、テンプレートを用いて行います。テンプレートファイルは、[レイヤー線スタイル設定] で保存された ***.lys ファイルです。この機能は土木系で SXF ファイルを電子納品するユーザー様向けの機能です。

[土木専用 / 土木基本 / レイヤーテンプレート変換]



外部データ貼り付けオプション

1. データ編集

[5. データ更新] が新たに追加されました。データ貼付コマンドのリンクモードで貼り付けられた要素に対して、更新処理を行うことができます。

[外部データ貼付 / データ編集]



2. データ貼付

貼り付ける要素の角度を指定できるようになりました。[8. 角度]に入力した数値分、要素が傾きます。

[外部データ貼付 / データ貼付]

